

## 安全データシート（SDS）

## 1. 製品名及び製造者情報

製品名： 産業用除湿剤 Bタイプ  
会社名： 第一テクノス 株式会社  
住所： 広島市佐伯区利松三丁目 31-19  
電話番号： 【TEL】 082-298-2011  
【FAX】 082-929-1040

## 2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

## 成分及び含有量

製品構成	化学名または一般名	含有量 (%)	官報整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
内容物	塩化カルシウム (2水塩)	25以上	1-176	10035-04-8
	パーライト <sup>※1</sup>	50~60	—	有り
	澱粉	1~3	該当なし	9005-25-8
小袋包装材 (複層構成物)	ポリエチレンテレフタレート	合計で 2~6	(7)-1022	25038-59-9
	ポリプロピレン		(6)-402	9003-07-0
	ポリエチレン		6-1	9002-88-4
	炭酸カルシウム		1-122	471-34-1

※1：労働安全衛生法 第57条の2「通知物質」（構成成分の一部）  
（石英（結晶性シリカ）：1%未満）

## 3. 危険有害性の要約

（内容物）

## GHS分類

## 健康有害性

急性毒性（経口）：区分4  
目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分1  
特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分3（気道刺激性）  
特定標的臓器毒性（反復暴露）：区分2（血液系）

ラベル要素  
絵表示



注意喚起起語 : 危険

危険有害性情報: 重篤な眼の損傷

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による器(血液系)の障言のおそれ

注意書き:

[安全対策](予防策) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱後は良く洗う事。

粉じん/ミストを吸収しないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること

[応急処置](対応) 眼に入った場合: 水で数分注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

[保管] 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

[廃棄] 製品や課や空容器の廃棄を外部に委託するときは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃集物処理業者に業務委託すること。

---

#### 4. 応急措置

◆内容物が目に入った場合

目を傷つける恐れがあるので、目をこすらずに、清水で15分以上洗眼する。

必要に応じて、医師の診断を受ける。

◆内容物が体に付着した場合

皮膚等に炎症が起きる事があるので、水道水でよく洗い流す。汚染した衣類等は洗い落としてから着用する。必要に応じて、医師の診断を受ける

◆内容物を誤飲・誤食した場合

水で口の中をよくすすぎ、吐かせる。脱水症状が起きる事があるので、水を飲ませる。必要に応じて、医師の診断を受ける。

◆吸引した場合

新鮮な空気のある場所に移動させる。口内と鼻腔を水でよく洗浄する。必要に応じて、医師の診断を受ける。

---

## 5. 火災時の措置

消火方法 中身：不燃性 包材：可燃性 ※火災の場合の消火方法は問いません

---

## 6. 漏出時の措置

### 内容物が漏出した場合

作業の際は、保護手袋、保護眼鏡、防塵マスクを着用して行う。  
(目・口・皮膚に接触した場合は炎症を起こす可能性がある。)

少量の場合は、大量の水で洗い流すか拭き取る。  
多量の場合は、直ちに河川、下水等に流れ込まないように処置する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取り扱い

開封のまま放置せず、使用後は外装袋の口をしっかりと閉めること。  
製品に強い圧力を掛けないこと。  
包装材を開封して、内容物を露出させないこと。  
(内容物が金属に触れると錆や腐食の原因となる。)  
アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。

### 保 管

高温多湿な場所を避け、常温で保管する。  
ダンボールケースは、水漏れ厳禁で、乱暴な扱いを避ける。  
床面には、パレット・ザラ板上に置き、直積みしないこと。  
酸と離して貯蔵する

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

内容物〔パーライト〕

管理濃度：厚生労働省 作業環境評価基準(粉じん) H.21.3.31 改訂基準による

管理濃度 (mg/m<sup>3</sup>)  $E = 3.0 (1.19 \times Q + 1)$

(Q：当該粉塵の遊離けい酸(結晶性シリカ)含有率%)

許容濃度：日本産業衛生学会の許容濃度 (H.22.5.26 付け勧告)

第2種粉塵=遊離けい酸(結晶性シリカ)10%未満の鉱物性粉塵

吸入性粉塵：1mg/m<sup>3</sup> 総粉塵：4mg/m<sup>3</sup>

粉塵が立たないように換気・排気を行う

必要に応じて保護具を着用する

(防塵マスク, 保護手袋, 保護眼鏡, 長袖の保護衣, 保護長靴)

---

## 9. 物理的及び化学的性質

外観：白色粉末

臭い：ほぼ無臭(閾値の情報なし)

pH：8~10(塩化カルシウム)

融点：176℃(塩化カルシウム)

溶解性：水に可溶(塩化カルシウム)

---

## 10. 安定性及び反応性

通常の手扱い条件においては、化学的安定である。

〔当物質自体の 発火性、爆発の危険はない〕

---

## 11. 有毒性情報(内容物)

急性毒性(50%致死量等を含む)：塩化カルシウム

雌 LD50値 3798mg/kg

雄 LD50値 4179mg/kg (ラット)

※成人経口致死量 30g(薬・毒物緊急マニュアルより)

刺激性 : 眼や皮膚に接触すると、炎症を起こす可能性

その他毒性 : 実験報告なし

生態影響 : 実験報告なし

---

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性：塩化カルシウム

魚毒性：Pimephales promelas(ヒメハヤ) LC<sub>50</sub>4 630mg/L 静的試験(96h)

ミジンコ毒性：Daphnia magna(ミジンコ) EC<sub>50</sub>2, 400 mg/L 静的試験(48h)

藻毒性：Selenastrum capricornutum(クロレラ) EC<sub>50</sub>2, >4,000 mg/L  
(72h:生育速度)

---

## 1 3. 廃棄上の注意

廃棄は各地方自治体の処理方法に従ってください。

多量に廃棄する時は、産業廃棄業者に依頼する。

---

## 1 4. 輸送上の注意

ダンボールがつぶれたり、破損して製品外装が破れたりしないよう、乱暴な取扱いを避ける。また、水に濡らさないようにする。

※国連危険物輸送勧告に定める危険物に該当しない〔航空機・船舶・道路輸送等〕

---

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法：第 57 条の 2「通知物質」 パーライト（構成成分の一部）

---

## 1 6. その他の情報

記載内容のうち、含有量、物理化学的の数値は保証値ではありません。

現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、

本データシートは、化学製品の一般的な取り扱いを対象としておりますので、  
特殊な条件で使用される場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご  
利用ください

---